

## 潰瘍性大腸炎の患者様へ

白血球除去療法(CAP)は潰瘍性大腸炎難治例の患者様に対する有効な治療として広く行われていますが、長期の治療成績や再燃した時の再有効性などについては十分な検討がなされておられません。潰瘍性大腸炎の患者さんにより適切な CAP 治療を提供するため、現在当科では過去に CAP 治療を行った患者さんの治療成績（短期、長期の成績、再燃したときの再有効性）をまとめており、今後学会などで報告する予定です。

今回の研究はこれまでの治療成績を電子カルテなどで調べるものですので、このために新たに検査などを行うことはありません。また、結果を報告する場合には報告内容に個人が特定されるようなデータは一切含まれませんが、もしこのような調査を希望されない場合には申し出てください。そのような場合でも、今後の診療に影響を及ぼすことは一切ありません。

秋田赤十字病院消化器内科

飯塚 政弘

TEL: 018-829-5000

## 同意書

秋田赤十字病院院長 小棚木 均 様

私は秋田赤十字病院の医師から「潰瘍性大腸炎難治例における血球成分除去療法の長期治療成績および再有効性に関する検討」について別添の説明文書を用いて説明を受けました。

その目的、臨床研究に参加しなくても不利益を受けない事、申し出ればいつでも臨床研究を止めることができる事、機密保持等について十分理解しましたので、本研究に参加することに同意いたします。

同意年月日

[Redacted signature]

同意者（本人\*未成年の場合は保護者）

住所 \_\_\_\_\_

署名又は記名・捺印 \_\_\_\_\_ 印

[Redacted signature]

説明年月日

[Redacted signature]

説明者の所属 秋田赤十字病院 消化器内科

説明者の署名又は記名・捺印 \_\_\_\_\_

[Redacted signature]